

## 東北民放クラブだより

### 地区交流会だより(青森地区)

田沼 孝(RAB)

弘前市の蕎麦屋で、一杯ひっかけ、今年から始まる弘前城の石垣修理の現状を視察するという名目で青森県の会員に声をかけました。7月23日に集まった会員は6名でした。女性会員の参加がなかったのは誠に残念。

「石臼挽き 自家製粉 彦庵」の蕎麦会席で一杯呑みながら1月以来の久しぶりの顔合わせとなりました。



交流会での弘前城石垣視察

平均凡そ80歳ではどうしても話はお互いの病氣自慢の方向に進み、それでも皆さんは呑みながら歳の

割によく食べていました。

いい加減腹ごしらえが出来たところで石垣修理の弘前城に出陣しました。

弘前城は桜の名所でも有名ですが、今の季節も松の緑が城に映え、暑からず散策にはもってこいでした。

弘前城は8月から天守閣を70メートル本丸の内側に移し、10年計画で石垣修理を行います。

今回で青森地区の交流会は二度目になりますが、これも「東北民放クラブ地区交流支援制度」のお陰と感謝いたしております。

交流支援制度が呼び水となり、普段会うことのない会員が一堂に会し、のんびり近況を語り合えるのも交流会の嬉しいところです。

### 釣友会いざ出航

石田 耕一(OX)

7月11日、四国・中国地方は台風で大雨だというのに、仙台は31度を超える好天気。

東北民放クラブ釣友会有志6名、仙台湾閑上港、永勝丸に乗船。午前5時出航。全国でも有名なカレ

イ場、大型漁礁に1時間で到着。即、作業開始。早朝で相手も腹が空いて食付きもよい筈なのに、ボチボチの状態が続く。

潮の流れが変則なのか、いつもよりオマツリが多い気がする。船頭さんも好ポイント求めて、船をアッチコッチと走らせる。さすが大型漁礁、尺もののカレイも上がってくるが、今日の彼は食欲なし、海の中も暑気当たりとみた。

今回の釣行、波おだやかで好天気、しかし釣果なし。トップの安倍さん26、メーカーは幹事11枚という有様。「このまま引き下がれません。今秋再挑戦」と山内、庄司、伊藤の諸氏からハツパをかけられ、山形の菅原さんは一座布団に糸切られた。あのザブトン・カレイ絶対釣り上げる」と8月一人で実行した筈。結果は聞いておりません。



釣果求めていざ出航

### うらら俳句会

バッチャンと呼びかける孫盆飾り  
上崎 正(RAB)

酷暑なお籠居の日々を漂えり  
内ヶ崎多朗(TBC)

一呼吸し猛暑の町へ出にけり  
沖本まゆみ(OX)

夏の陽を炎に見せてゴジラ岩  
加藤 士朗(ABS)

真っ白な脚のスラリと夏帽子  
小杉 祐作(AKT)

コールドは今年も来夏へ夢つなぐ  
(高校野球)  
鈴木 孝志(MMT)

銀杏に足をとられる日暮れかな  
丹野 稔(MMT)

夏雲にいつか来た道辿りかね  
橋浦 愛武(KHB)

遠雷す戊辰哀史の地に立てば  
横山 萬平(TBC)